

たばこ規制による飲食店の売り上げ等、経済的影響の調査等

国・開始年	経済的影響の調査 ※論文抜粋
<p>カリフォルニア州 1995年 レストラン 1998年 バー</p>	<p>① 2005年5月 Economic Losses due to somoking bans in California and other states ⇒1990年~98年でカリフォルニア州では、近接している他州のバーとレストランの売上げの伸び率と比べて低い。近接州と同程度の伸び率であれば、1998年の売上高は365億ドルになり、実績よりもさらに85億ドル増となっていたであろう。</p> <p>② 2005年9月 Smoke-free laws and bar revenues in California-the last call ⇒・1990年~2002年全料飲業の売上高中のバー比率が35%超から29%強に ・法施行後、1年、2年、5年後のバーの売上げ状況 1995年法施行後→バー売上高比率減少、1998年法施行後→バー売上高比率増加</p>
<p>ニューヨーク市 2003年</p>	<p>③ 2004年5月 The economic impact of the New York State Smoking Ban on bars ⇒・禁煙条例によるバー,居酒屋への直接的損失 2000人の雇用、2,850万ドル（給与等）、3,700万ドルの州内総生産 ・バーや居酒屋に他の関わる企業が被る間接的損失 650人の雇用、2,150万ドルの所得、3,450万ドルの州内総生産</p> <p>④ 2006年7月 The Health and Economic impact of New Yorks Clean Indoor Air Act ⇒1999年から2004年まで4半期ごとの売上税を調査した。法律の施行は、市や州のバーや飲食店、小売業の売上税収に変化をもたらしていない。</p>
<p>アイルランド 2004年</p>	<p>⑤ 2009年11月 ドリンクス・インダストリー・グループによる調査 ⇒禁煙法制定後、5年間で1500件以上のパブ、クラブ、ホテル、飲食店が閉店した。経費の上昇とともに、雇用と収益の下落を報告。</p> <p>⑥ 2011年 Impact of the smoking ban on the Volume of bar sales in Ireland ⇒禁煙法制定後、バーの売り上げが4.6%減少したと報告</p> <p>⑦ 2014年3月 アイリッシュタイムズ報道 ⇒禁煙法導入から10年 パブの数は過去数年で減少しているが、減収はわずかにとどまる。喫煙者がたばこを吸う屋外のスペースが社交の場に。</p>
<p>イギリス 2007年</p>	<p>⑧ 2008年 Mintel（市場調査会社）調査 Impact of the Smoking Ban ⇒たばこ規制後6か月後の状況。22%の喫煙者が規制によって付き合いがなくなったと感じ、成人200万人がパブやバーに出かけなくなった報告。</p> <p>⑨ 2008年7月 時事通信報道 ⇒英ビール・パブ協会によると、2007年のパブ閉店数は全体の約2.4%に当たる1409店。前年（216店）から急増。同法施行後52%で売上げ減少、増加は10%</p> <p>⑩ 2010年 読売新聞報道 ⇒ロンドン南東のパブでは、「もっと家族を、子どもを」を合言葉に、食事メニューを充実したら、家族連れが増え売上げは禁煙前の25%増になった。</p>